

原料使用実績

単位=屯

品目	畜種	2021年9月	2022年8月	2022年9月	前年比	使用割合	累計	前年累計	前年比
大 裸 麦	育雛・成鶏	16	16	12	75.0%	0.0%	104	176	59.1%
	ブロイラー	113	121	121	107.1%	0.0%	1,106	768	144.0%
	養豚	7,036	7,855	7,485	106.4%	1.6%	63,955	53,413	119.7%
	乳牛	5,887	6,898	6,791	115.4%	2.7%	59,055	50,721	116.4%
	肉牛	60,746	64,781	62,675	103.2%	16.2%	562,422	535,272	105.1%
	うずら	0	0	0	-	0.0%	0	0	-
	その他	164	166	172	104.9%	6.8%	1,523	1,398	108.9%
	配合飼料	73,962	79,837	77,256	104.5%	4.0%	688,165	641,748	107.2%
	混合飼料	1,068	1,086	990	92.7%	2.5%	9,121	11,524	79.1%
配・混合合計	75,030	80,923	78,246	104.3%	4.0%	697,286	653,272	106.7%	
米	育雛・成鶏	29,265	30,403	32,026	109.4%	6.3%	297,663	245,462	121.3%
	ブロイラー	33,741	29,314	31,331	92.9%	10.1%	289,673	297,423	97.4%
	養豚	28,062	28,846	31,547	112.4%	6.9%	279,111	232,809	119.9%
	乳牛	5,998	5,079	5,043	84.1%	2.0%	49,755	49,077	101.4%
	肉牛	3,467	3,472	3,419	98.6%	0.9%	30,604	29,270	104.6%
	うずら	6	8	12	200.0%	0.5%	73	61	119.7%
	その他	21	32	38	181.0%	1.5%	264	133	198.5%
	配合飼料	100,560	97,154	103,416	102.8%	5.4%	947,143	854,235	110.9%
	混合飼料	353	316	352	99.7%	0.9%	2,980	3,058	97.4%
配・混合合計	100,913	97,470	103,768	102.8%	5.3%	950,123	857,293	110.8%	
小 麦 粉	育雛・成鶏	157	213	189	120.4%	0.0%	1,834	1,496	122.6%
	ブロイラー	2,178	2,344	2,263	103.9%	0.7%	21,979	18,879	116.4%
	養豚	6,165	6,442	6,194	100.5%	1.4%	60,341	50,168	120.3%
	乳牛	2,669	2,940	2,748	103.0%	1.1%	25,977	24,874	104.4%
	肉牛	3,112	3,298	3,112	100.0%	0.8%	28,754	27,713	103.8%
	うずら	75	85	88	117.3%	3.8%	767	698	109.9%
	その他	59	62	62	105.1%	2.5%	519	542	95.8%
	配合飼料	14,415	15,384	14,656	101.7%	0.8%	140,171	124,370	112.7%
	混合飼料	111	126	102	91.9%	0.3%	991	993	99.8%
配・混合合計	14,526	15,510	14,758	101.6%	0.8%	141,162	125,363	112.6%	

科学飼料研究センターISO17025認定更新パス

(一社) 日本科学飼料協会はこのほど、「飼料中の動物由来たん白質分析」のためのPCR分析の分野において、ISO/IEC17025の認定を受けている千葉県成田市の科学飼料研究センターが認定更新のための新審査をパスしたとした。同審査は、二〇二二年九月二十六日〜二十七日の二日間にわたり実施された。

ISO/IEC17025は、「試験所認定」と呼ばれ、試験所が「信頼性のある試験結果を生み出す技術力」と「品質管理を行う上でのマネージメント力」を有し、適切に運営されていることを第三者認定機関が確認して認定する国際的に認められた規格である。

ISO17025の認定更新の新審査は、文書や記録を確認しながら分析機関としての公平性・中立性があることや、データ管理等の機密保持が行われているか等チェックされる。また、リスク分析や不適合事項への取り組み状況の記録等から、PPCAサイクルを回し、システムの改善を行っているかがチェックされる。併せて、分析の実技チェックも行われる。これは、分析を行う実験室では、分析する環境やサンプルの保管状況等を確認するとともに、実際に分析を行い、決められた試験方法に基づくプロセスを経て、試験結果が得られているかがチェックされる。

これらにより、試験所として必要なISO17025のすべての要求事項を満たしていることが確認されると、認定に向けた推薦状が発行される。この推薦を経て、判定委員会において認められると、国際規格に適合している試験所であることが認定される。

同協会科学飼料研究センターは、飼料の一般成分、有害物質やサルモネラなどの各種ガイドラインに関する分析等のPCR分析以外の分析についても、ISO17025に準じた管理を行っている。

### J A えひめ来第一農場を農場H A C C P 認証農場に認証

(公社)中央畜産会は十一月二十四日、農場H A C C P 認証農場の認証について、今般、申請のあった一農場が農林水産省が公表した「畜産農場における飼養衛生管理向上の取組認証基準(農場H A C C P 認証基準)」に適合していると認められたことから、認証農場として認証した。

今回、農場H A C C P 認証農場として認証された農場は、愛媛県のJ A えひめフレッシュフーズ(株)来第一農場(採卵鶏経営)とされた。同時に、既認証農場であった一農場(豚)が維持審査を受審しなかったことから、認証が失効し、認証農場リストから削除された。

これにより、十一月二十四日現在の農場H A C C P 認証農場数は、豚が一〇九農場、採卵鶏が八八農場の合計三五三農場となった。

中央畜産会は今後も、畜産農場からの農場H A C C P 認証申請について、随時受け付け、審査を実施していく方針である。